

# 産油国国営石油会社訪問を終えて ～アジア・中東・中南米の国営石油会社とのトップ会談～

本紙冒頭に掲載の通り、本年度 JCCP は新たに「JCCP の礎」を策定し、JCCP の事業活動等の更なる充実を図って行くこととしました。

また、その実現へ向け、中井代表執行理事は以下の目的で関係産油国トップとの面談を実施しました。

- ① JCCP 事業に対する産油国側の評価確認と人的ネットワークの維持・構築
- ② 研修ならびに技術協力事業に関するレビューと今後のプログラムについての確認・優先順位付け等のコンセンサス作り
- ③ 関連情報の収集等

つきましては、概要を下記の通り報告します。

## 1. ミャンマー

### 1. タンリン製油所、キネ ウー製油所長他との面談

- (1) 日時：  
平成 27 年 4 月 21 日（火）10:00～12:00  
（於：タンリン製油所）
- (2) 面談者：  
キネ・ウー製油所長（Mr. Khine Oo）その他 9 名
- (3) 面談内容：  
タンリン製油所から同製油所の紹介がありました。装置構成概要は、常圧蒸留装置（2 基）、潤滑油ブレンド設備、デイレードコーカー等です。トレーニングセンターは講師 5 名から成り、年間 7 件のトレーニングコースを実施しています。  
中井代表執行理事から訪問御礼挨拶、JCCP 概要紹介を行いました。それを受けてタンリン製油所から以下の希望・要望がありました。
  - ① 技術協力部関係事業：現在、ミャンマーでは環境に関して基準が無く、JCCP と進めている「品質管理システム」を鑑み、環境管理を進めていきたい。
  - ② 研修部関係事業：タンリン製油所トレーニングセンターでの最新計装に関する JCCP による研修（CPO）を実施してほしい。



タンリン製油所での面談風景（左から 6 番目がキネ ウー製油所長）

### 2. MOE（Ministry of Energy、エネルギー省） ウー ゼアー アウング大臣他との面談

- (1) 日時：  
平成 27 年 4 月 22 日（水）13:00～14:00（於：MOE）
  - (2) 面談者：  
ウー ゼアー アウング大臣（Mr. U. Zeyar Aung）  
その他 7 名
  - (3) 面談内容：  
中井代表執行理事から訪問御礼挨拶、JCCP 概要紹介を行いました。それを受けて MOE から以下の希望・要望がありました。
    - ① JCCP での研修：これまで 600 人弱の研修生を受け入れてもらっており大変感謝します。平成 27 年度も 24 それぞれのコースに研修生を送りたく候補者を選考しています。
    - ② タンリン製油所での CPO：最新のコントロールシステムを知ることは大事です。ついては、MOE の窓口から JCCP に具体的な相談をさせます。
    - ③ パイプライン関係研修：小規模のパイプラインプロジェクトを進めたいので、新日鉄住金に研修生を送り込んで勉強をさせたい。JCCP でアレンジをお願いしたい。
- （研修部 岩松 栄治）

## 2. クウェート、アラブ首長国連邦 (UAE)

本年5月18日から、中井代表執行理事は資源エネルギー庁精製備蓄課 浅野課長補佐とともにクウェート、(以下目的): アブダビを歴訪し、クウェートの関係先訪問ならびに製油所視察(浅野課長補佐)、また、その後アブダビでは Friendship Committee for Women's Career Development (FCW) 関連の会議等に出席しました。(FCWについては別稿を参照下さい)

- ① 本年度開催を計画しているクウェートでの産油国ネットワーク会議(同窓会)にかかわる協力依頼
- ② FCWの説明とクウェートとも女性の社会進出にかかわるプログラムを立ち上げることについての感触確認
- ③ 今後の、人材育成・技術協力プログラムの推進に関する意見交換

### 1. KPC アル・ザービ企画担当専務取締役補佐との面談

- (1) 日時:  
平成27年5月17日(月) 8:00 ~ 9:00  
(於: KPC 本社)
- (2) 面談者:  
ワファ Y. アル・ザービ企画担当専務取締役補佐  
(Ms. Wafa'a Y. Al-Zaabi, Deputy Managing Director-Planning)  
アズマ アル・カラフ健康・安全・保全・環境課長  
(Ms. Asmaa Al-Qallaf, Manager, Health, Safety, Security, Environment)

- (3) 面談内容:  
当方より、浅野課長補佐を紹介し、本年度計画しているクウェートでの産油国ネットワーク会議(同窓会)に関する協力を依頼しました。また、女性の社会進出や活用について、アブダビと委員会を立ち上げること。将来はクウェートとも同様の枠組みを作っていきたい旨説明したところ、ワファ専務補佐から、いずれも前向きな返答をいただきました。また、同専務補佐から、当国石油大臣から再生可能エネルギーの導入やエネルギーの効率的な利用について強く求められている、との話があり、JCCPとしても可能な限り協力していくことを伝えました。

### 2. KISR PRC バーザッド科学技術部門長との面談

- (1) 日時:  
平成27年5月17日(月) 10:30 ~ 12:30  
(於: KISR PRC)

- (2) 面談者:  
ダウード バーザッド科学技術部門長  
(Mr. Dawoud Bahzad, Division Director Science & Technology)  
ハリダ A. アル・ダルマ研究科学部門長  
(Ms. Khalidah Al-Dalma, Research Scientist, Division Director)  
その他6名

- (3) 面談内容:  
当方よりクウェートにおける JCCP 事業の概要を説明したところ、KISR 側からは今後5年間の重点研究分野(以下)の説明および、JCCPとの共同事業である、「重質油の効果的な水素化処理方法に関する事業」、「腐食評価と防食技術プログラムに関する事業」、「SPH プロセスの適用と経済性検討に係る事業」の進捗状況の説明がありました。

- ・ EOR 技術
- ・ 製油所の処理能力増強
- ・ 腐食防食対策
- ・ 新たな処理技術の導入
- ・ 石油化学関連の研究

また、本年度開催予定の日本クウェート合同シンポジウムについても打合せを行いました。  
上記、面談後には PRC (Petroleum Research Center) の施設視察を実施しました。

### 3. KISR 本部 アル・アワディ副総裁、アル・マラフィ PRC センター長との面談

- (1) 日時:  
平成27年5月17日(月) 14:30 ~ 15:30  
(於: KISR 本部)
- (2) 面談者:  
ナダール M. アル・アワディ KISR 副総裁  
(Dr. Nadar M. Al-Awadhi, Executive Commissioner)  
ミーナ マラフィ PRC センター長  
(Dr. Meena Marafi, Executive Director)  
その他2名

(3) 面談内容：

アル・アワディ副総裁より、JCCPとの良好な関係を今後ますます発展させていきたいし、JCCP 事業は国際協力としての成功モデルであり、経済産業省の支援に大変感謝している旨の挨拶がありました。また、再生可能エネルギーについて日本の技術に強い関心を持っている、とのコメントがありました。当方からは、本年度開催予定のクウェートの産油国ネットワーク会議（同窓会）、日本クウェート合同シンポジウム等の説明および再生可能エネルギーに関する協力について話し合いました。浅野課長からは、KISR のこれまでの協力に対する感謝と今後の関係強化についてお話がありました。



アル・アワディ KISR 副総裁

#### 4. KNPC Mina Abdulla 製油所

##### アル・アズミ所長代理との面談および製油所視察

(1) 日時：

平成 27 年 5 月 18 日（火）10:30～12:30  
（於：Mina Abdulla 製油所）

(2) 面談者：

ムトラク アル・アズミ所長代理（シュアイバ製油所長）  
（Mr. Mutlaq Al-Azmi, Deputy CEO, Shuaiba Refinery）  
ナディア B. アル・ハッジ技術サービス課長  
（Ms. Nadia B. Al-Hajji, Manager Technical Services）  
その他 6 名



会議風景

(3) 面談内容：

まず、ナディア課長等からアブドラ製油所の概要説明をいただきました。特に 1991 年の湾岸戦争では、イラク軍により製油所の装置や施設がどれだけひどいダメージを被ったか、その後、製油所職員等の努力で現在の製油所がどのように復旧したかについて当時の写真を交えた説明は圧巻でした。また、概要の説明の後には、活発な質疑応答がなされ、続いて同製油所の視察を行いました。

（総務部 加須屋 純一）

### 3. カタール、イラン、クウェート

#### 1. Qatargas Operating Co.

##### アル・サーニ社長との面談

(1) 日時：

平成 27 年 6 月 24 日（水）10:00～10:45  
（於：Qatargas 本社）

(2) 面談者：

ハリッド K. アル・サーニ社長  
（Sheikh Khalid K. Al-Thani, Chief Executive Officer）

(3) 面談内容：

当方より、JCCP の活動を紹介し、特に本年度は ADNOC と女性のキャリア開発等をテーマに FCW を立ち上げたことを説明しました。アル・サーニ社長は JCCP の活動について熱心に耳を傾けて下さった他、天然ガスの需給や原油価格低迷の影響等幅広い話題について意見交換を行いました。

#### 2. Qatar Petroleum (QP) アル・カービ社長との面談

(1) 日時：

平成 27 年 6 月 24 日（水）11:30～12:30  
（於：QP 本社）

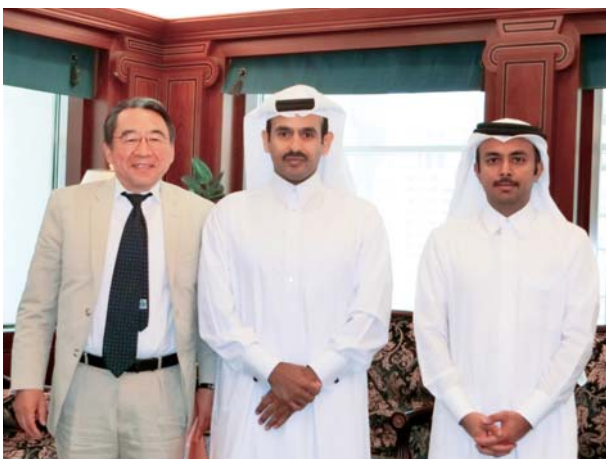
(2) 面談者：

サード アル・カービ社長  
（Mr. Saad S. Al-Kaabi, Managing Director）  
アブドラアジズ アル・マンナイ人事担当副社長  
（Mr. Abdulaziz M. Al-Mannai, Executive Vice President, Human Capital）



(3) 面談内容:

当方より、JCCPの活動概要を説明すると共に、JCCP幹部候補生研修へのQP社員の派遣やアル・カービ社長のJCCP国際シンポジウムへの参加をお願いしました。アル・カービ社長からは、QPの組織改革が終了し社内体制が落ち着いたことから、JCCP研修への社員派遣や技術協力案件の検討等これから更にJCCPとの関係を強めていきたい旨のお話がありました。



アル・カービ社長

3. イラン石油省 ザマニア通商・外交担当次官との面談

(1) 日時:

平成27年6月25日(木) 11:00 ~ 12:00  
(於: イラン石油省)

(2) 面談者:

アミール ホセイン ザマニア通商・外交担当次官  
(Mr. Amir Hossein Zamaninia, Deputy Minister for Commerce & International Affairs)  
マル ジイリアヒ アジア・アフリカ局長  
(Ms. Marzeieh Riahi, Director General, Asia and Africa)  
羽田 浩二 在イラン日本大使館 特命全権大使  
その他6名

(3) 面談内容:

ザマニア次官より、イランへの経済制裁が解除された場合、イランにおけるエネルギー関連の様々な課題について、日本やJCCPに対して支援を求められました。中井代表執行理事からは、課題が多岐の分野に亘っていることから、優先順位を付け内容を整理した上で、JCCPに可能な支援をする用意があることを伝えました。また、JCCPは1981年以降イランから凡そ1,400人の研修生を受け入れていること。また、最近のJCCPの活動概要等を説明しました。その他 中東情勢やイランへの制裁解除にかかわる話題等で意見交換が行われました。



ザマニア通商・外交担当次官(中央)、羽田大使(左から2人目)

4. NIORDC (National Iranian Oil Refining and Distribution Co.) カゼミ石油省次官兼社長との面談

(1) 日時:

平成27年6月27日(土) 8:00 ~ 8:30  
(於: NIORDC 本社)

(2) 面談者:

アッバース カゼミ石油省次官兼社長  
(Mr. Abbas Kazemi, Deputy Minister of Petroleum and President)  
サイード マジョウビ生産調整局長  
(Mr. Saeid Mahjoubi, Director, Production Coordination & Supervision)  
シャーロク コスラバニ副社長  
(Mr. Shahrokh Khosravani, Vice President)  
その他1名



カゼミ石油省次官兼社長(右から4人目)

(3) 面談内容：

中井代表執行理事より、ザマニニア石油省次官との面談の際にイランのエネルギー分野における様々な課題について伺ったことを報告し、制裁が解除された後、それらの課題解決について JCCP として協力や支援が可能であることを伝えました。また、それら課題の整理等の為にイラン側の関係者を本年度内に JCCP に招聘したいとの抱負を語りました。

## 5. KPC アル・アドサニ社長との面談

(1) 日時：

平成 27 年 6 月 28 日 (日) 9:45 ~ 10:15  
(於：KPC 本社)

(2) 面談者：

ニザール M. アル・アドサニ社長  
(Mr. Nizar M. Al-Adsani, Chief Executive Officer)

(3) 面談内容：

中井代表執行理事より、最近の JCCP の活動状況の説明をした他、クウェート同窓会、幹部候補生研修、JCCP 国際シンポジウム等多くの話について話し合いが行われました。中でも女性の社会進出に関わり、JCCP と ADNOC の間で FCW を立ち上げたことを紹介すると、アル・アドサニ社長から、KPC グループ会社の中でも Professional Women Network (PWN) という女性が中心の活動がある、との説明をいただき、その中心的な役割を担っている KUFPEC のハシム副社長を紹介いただきました。

## 6. KUFPEC ハシム副社長との面談

(1) 日時：

平成 27 年 6 月 28 日 (日) 10:30 ~ 11:20  
(於：KUFPEC 本社)

(2) 面談者：

ホスニア S. ハシム オペレーション担当副社長  
(Ms. Hosnia S. Hashim, Vice President-Operation)

(3) 面談内容：

当方より JCCP 事業の概要を説明し、特に ADNOC との FCW の活動を紹介して本年 11 月に計画している FCW Week への参加を依頼しました。ハシム副社長からは PWN の活動を紹介いただくと共に FCW の活動を評価する、とのコメントをいただきました。また、FCW Week への参加についても快諾いただきました。

(総務部 加須屋 純一)

## 4. メキシコ

### 1. PEMEX ロソヤ総裁との面談

(1) 日時：

7 月 6 日 (月) 18:30 ~ 19:30 (於：総裁執務室)

(2) 面談者：

エミリオ・ロソヤ PEMEX 総裁  
(Mr. Emilio Lozoya, PEMEX CEO)  
ミゲル・タメ 精製部門長  
(Mr. Miguel Tame Dominguez, PEMEX Refinement Director General)  
アントニオ・アルバレス・モレノ 安全部門長  
(Mr. Antonio Alvarez Moreno, PEMEX Refinement Subdirector)

(3) 面談内容：

JCCP 設立以来 30 年以上継続的に研修生を受け入れてきた国のひとつであるメキシコはここ数年研修生派遣が少なくなり、昨年は残念ながら 0 人でした。そのため長年の両国のよき関係を復活するために、研修生派遣再開のお願いと今後協力できる分野及び PEMEX 向けコースの説明等を行いました。エミリオ総裁は、PEMEX は組織改革を行った後であり、人材育成は大変重要な課題、よい時期に来ていただいた、と総裁自ら研修生派遣再開への意向を述べられました。総裁に直に事業の説明ができたことは JCCP を理解していただく大変よい機会になりました。

### 2. PEMEX 大学 アルコセル学部長との面談

(1) 日時：

平成 27 年 7 月 7 日 (火) 10:00 ~ 11:10  
(於：PEMEX 本社)

(2) 面談者：

エルネスト アルコセル PEMEX 大学学長  
(Mr. Ernesto Alcocer, Dean of Pemex Corporate University)  
エドゥアルド セゴヴィア PEMEX 大学部長  
(Mr. Eduardo Segovia, General Manager Pemex Corporate University)  
アントニオ アルバレス PEMEX 安全部門長  
(Mr. Antonio Alvarez, Subdirector)  
その他 5 名

(3) 面談内容:

PEMEX 人材開発部門、技術部門における研修に対するニーズを確認し、PEMEX 向けカスタマイズドプログラムの説明、技術協力部事業への要望がある場合の手続き説明等を行いました。



PEMEX 総裁 (左から3人目) と

### 3. PEMEX サラマンカ製油所視察とホセ チャベス所長との面談

(1) 日時:

平成 27 年 7 月 8 日 (水) 10:20 ~ 12:30  
(於: PEMEX サラマンカ製油所)

(2) 面談者:

ホセ チャベス サラマンカ製油所長  
(Mr. Josa Alfredo Chavez Ortega, Salamanca Refinery Manager)  
その他 サラマンカ製油所幹部 8 名  
エンリケ ロサレス ドミンゲス アドバイザー  
(Mr. Enrique Rosales Dominguez, Adviser (Director General))

(3) 面談内容

直前の依頼にも拘わらず、会議室には日本とメキシコの手作りの旗が用意され大歓迎を受けました。製油所長のチャベス氏は 2003 年の卒業生であり、その他幹部には JCCP 卒業生も何人かおり、大変懐かしい顔ぶれに会うことができました。チャベス所長よりメキシコ国内のパイプライン設備、精製コスト削減を含むディレドコーカー等新設、超低硫黄ガソリン、軽油などへの各種プロジェクトの説明を受けました。また製油所見学と隣接している研修センターを見学させていただきました。立ち上げに JICA が携わったものであり、安全管理に関する研修では「5S」「指差呼称」「ツールボックスミーティング」などが今でも引き継がれています。



サラマンカ製油所

(総務部 尾内 三永子)